

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 年 月 日

事業所名: 多機能型事業所 育ち

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	2	職員の配置数は適切であるか	○			言語聴覚士、保育士、児童指導員など常勤・非常勤で配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				開所1年目で評価への取り組みは今回が初めてです。評価表の主旨に従い、保護者の意思を把握した上で、業務改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				開所1年目の為、今年度よりホームページで公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		現在、第三者評価の実施はできていないが来年度は外部評価を得る計画を準備中である。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			ZOOM研修を各自参加している。	職員の配置に考慮して、できるだけ多くの研修に参加できるようにする。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談時に保護者からのニーズを聴取し、自発管が計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			保育士と専門職と連携し、立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員間でミーティングを行い、活動内容を振り返り、次回の計画を立てている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別支援計画にて課題設定を行っている。	平日については、課題をきめ細やかに設定し、支援しているが、休日は営業していないこと、多機能型の為、長期休暇や延長等の支援はしていない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				今年度は少数(1名/日)の為、個人活動がメインとなっている。状況が変われば臨機応変に対応していく。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼にて活動内容、前日の反省を報告している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の支援内容や様子、気付き、保護者からの連絡を伝え共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			専用ソフトや指導案に毎日記録している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			利用児の状況確認、目標設定を行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○					

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					現在は医療ケア児の受け入れはしていない。今後その必要性が生じた場合は、職員の対応力を十分に考慮して受け入れの可否を決定したい。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					開所1年目で現在該当するケースがないが、状況に応じて対応していきたい。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			子ども総合療育センターと情報交換を行っている。	今後さらに地域の状況やより良い療育・サービスを提供できるよう連携を図っていきたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○				今年度はコロナ禍の為、感染対策を重視しているため活動はないが、送迎時に交流を図っている。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				○	今年度はコロナ禍の為、感染対策を重視。緩和後は積極的に参加していきたい。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に直接話したり、連絡メールや面談などで活動の様子を伝えている。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			面談時に支援プログラムについて説明をしている。		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			悩みがある場合、面談を取り入れている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				○	コロナ禍の為、現時点では感染対策を重視してできていないが、今後検討していきたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページで必要な情報は公開している。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			個人情報ファイルは鍵付き収納ボックスで保管している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				○	コロナ禍の為、現時点では感染対策を重視してできていないが、今後検討していきたい	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				感染予防についてはその都度紙面にてお知らせし、協力をお願いしている。他、マニュアル等については事業所内に掲示し、いつでも確認できるようにしているが、保護者へ十分に周知できるように努める
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○			今年度の避難訓練は不定期だったので、来年度は定期的を実施できるように計画し、見える化に努める。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に了承を得ている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				現在は、対象児はいないが、対象児には適切な対応をする。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例、対応、改善策、再発防止などについて記載し、職員で共有している。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)